

# 建材WEB発注サービス好調

低価格で導入可能な販管システムも

スマイル・コミュニケーションズ



木材・建材流通に特化したクラウドサービス

注サービス「M E W S」

M E W S 上で呼び出

(ミューズ)」で、もう一つがクラウド型の

販管システム「G

I-FORES Fit

（ジーフォレス・フィ

ット）クラウド」だ。

長年の実績があるM

EWSは、流通店が大

手建材メーカーに発注

するためのウェブサー

ビス。パナソニック、

LIXIL、大建工

業、ノダ、ウッドワ

ー、ケイミュー、旭フ

ジ、アイバーグラス、マグ

Sで発注したデータを

理運動機能」にある。

これは流通店がM E W

Sの持つ「販売管

理運動機能」である。

これはM E W Sで発注したデータを

同機能を使って自社の

基幹システムに取り込

むことにより、これま

スマイル・コミュニケーションズ（東京都、岡田慎一社長）は、木材・建材流通に特化したITサービスを提供しており、目下2つのクラウドサービスが好調に引き合って

いる。一つが建材WEB発

リストの10社のほか、

化学工業、住友林業など、多くの企業が参画している。

## 特集 建設DX

(上)

### 進む製品の多様化

#### 効率化、喫緊の課題

4月からの残業時間の規制による「建設業の2024年問題」を受け、様々なシステムを導入して業務の効率化、省力化を図ることを目的としたDX（デジタルトランスフォームーション）への投資を拡大する動きが顕著になっている。だが、小企業ではシステム化

建設業界では他業種と比べるとDX化的遅れが顕著で、なかでも中堅企業ではシステム化の適用分野はマーケテ

ーなど今後大きく変わることが予想される。そうしたなかでDXの適用分野はマーケティングなど今後大きく変わるアフターフォローなど多岐にわたっている。DX化が目指すものは、データ活用による

の推進が課題となってい

る。建設業を取り巻く環境も、4号特例の縮

小、断熱水準の義務化

の推進が課題となっ

て、イング、販売、受発注、設計、工程管理、

の共有、カメラの活用による移動時間の削減

しなければならないこ

とに加え、メーカー側も導入研修や問い合わせ窓口の設置などのア

クセーション機能の有無

が非常に多様だが、

製品が拡充されるな

で、各企業は自社にとって最適なものを選択せねばならないことに加え、メーカー側だけ力を入れることができるかも求められている。

i t クラウドは、初期費用200万～300

万円が目安。その後はオプション機能の有無

によって月額利用料は7万～10万円程度となる。

また、当然M E W S からの発注データを取り込めるインターフェースも標準実装しており、建材メーカーの最新の商品マスターも格納している。

i t クラウドは、初期費用200万～300万円が目安。その後はオプション機能の有無によって月額利用料は7万～10万円程度となる。